

## 1 学期終業式あいさつ

7月に入り、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生し、多くの尊い命が失われました。また、島根県を始め各地で記録的な豪雨が発生し、多くの方が被災されました。亡くなられた方に哀悼の意を表すとともに、豪雨被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスは、つぎからつぎへと変異を繰り返し、感染力を強めてきています。島根県でも5月の連休頃から感染者数が毎日のように報告されるようになりました。昨年度は、県総体を含めいろいろな教育活動が中止となったこともあり、ずいぶん心配しましたが、感染症対策を講じながら教育活動を進めることができたことは、本当によかったですと感じています。

これから、一日でも早く新型コロナウイルス感染症が終息し、通常の教育活動に戻っていくことを期待し、願っています。しかし、それまでは皆さんも今まで通りマスク、手指消毒等の感染症対策は、継続していただくようお願いします。

皆さんは、この1学期を振り返ってどうでしたでしょうか。年度当初立てた目標通り進んでいる人、思うように進んでない人、明確な目標を立てなかった人様々でしょうが、一旦立ち止まり、振り返り、リスタートを切るこのプロセスはとても重要です。

私は、今年校長として学校経営方針を定めました。その中で、本年度の重点目標として①生徒たちが明るく夢と希望を持って活動する活気あふれる学校づくり、②地域にとって魅力ある高校づくりとしました。その目標通り進んでいるのでしょうか。1学期を振り返ると生徒の皆さんの活躍を随所に見ることができたと思います。今学期の表彰伝達の一覧が示されていますが、とても多くの皆さんが表彰されました。そこからも生徒の皆さんの活躍を垣間見ることができます。それ以外にも、全国植樹祭の式典に補助員として参加してくれた人、式典を彩るプランター制作に関わってくれた人、中学校での学校説明会に参加した人、産社や各系列学習での地域交流に参加した人、部活動に打ち込んだ人、資格取得にむけて頑張った人、などなど。本当によく頑張ってくれて校長としてもうれしく思います。

そうした一人一人がそれぞれ何かに打ち込んで頑張ってくれる姿が、活気あふれる学校、地域にとって魅力ある邇摩高校へとつながってくれると思います。そして生徒の皆さん一人一人がチーム邇摩高校の一員だと自覚し、みんなで魅力ある邇摩高校を作っていきたいと考えています。

今年度、邇摩高校での3年間の学びを通してどのような力が身につくかをわかりやすく図にした邇摩高校グランドデザインを作成しました。後ほど、ホームページにもアップするのでゆっくり見てください。その中で、皆さんが卒業するまでに身につけて欲しい力として、『主体性、協調性、探究性、社会性』の4つを挙げ、それぞれ具体的な項目を示しました。その1つに、『自ら主体的に学ぼうとする姿勢』があります。邇摩高校では、皆さん一人一人の可能性とチャンスを最大とする環境を整えながら教育を進めています。

ですので、安心していろんなことにチャレンジしてください。そして安心して失敗してください。邇摩高校は、その失敗を活かせる学校です。失敗を恐れず多くの経験を積むことが自信につながります。新しい自分に出会えるかもしれません。皆さんには無限の可能性が秘められています。

そして総合学科にはたくさんのチャンスがあります。様々な体験学習、資格取得、各系列の学びを活かした各種大会への出場など邇摩高校に入学しなかったらできなかったことがたくさんあります。それらのチャンスを自分でつかんでください。そして邇摩高校に入学して本当によかったと思える学校生活を送ってほしいと願っています。

明日からの夏休み、どのように過ごすかが、2学期からの生活に大きく影響してきます。3年生は、自分の進路を決める大切な時期ですから夏期補習や面接指導等も始まると思いますが、進路実現に向け精一杯頑張ってください。2年生は、部活動での新チームでのリーダーとしてチームをまとめてください。1年生は、高校生活にも慣れてきたと思いますので、これから何を頑張りたいか、打ち込めるものを見つけてください。

夏休みをぜひ自分の成長のために計画的に活用してください。8月26日の2学期始業式には、成長した皆さんの姿が見られることを期待して終業式でのあいさつとします。